

## 学部・研究科等の研究に関する現況分析結果

学部・研究科等の研究に関する現況分析結果（概要）	1
1. 工学部、工学研究科	3

注) 現況分析結果の「優れた点」及び「特色ある点」の記載は、必要最小限の書式等の統一を除き、法人から提出された現況調査表の記載を抽出したものです。



## 学部・研究科等の研究に関する現況分析結果（概要）

学部・研究科等	研究活動の状況		研究成果の状況	
工学部、工学研究科	【2】	相応の質にある	【2】	相応の質にある



## 1. 工学部、工学研究科

( 分析項目Ⅰ 研究活動の状況 ..... 4 )

( 分析項目Ⅱ 研究成果の状況 ..... 5 )

## 分析項目Ⅰ 研究活動の状況

### 〔判定〕 相応の質にある

### 〔判断理由〕

研究活動の基本的な質を実現している。

### 〔優れた点〕

- 人間・ロボット共生リサーチセンターの研究グループが、関係論的なロボットの社会実装研究プロジェクトで、「弱いロボット」の概念等を一般にも広く紹介した書籍を出版し社会提言した。この研究活動に対して、平成 29 年度の文部科学大臣賞・科学技術賞を受賞している。その後、令和 2 年度に改訂された小学校 5 年生国語科用 文部科学省検定教科書『新しい国語 五』の教材文として、「弱いロボット」を題材とした説明文が掲載されている。

### 〔特色ある点〕

- 南海トラフをはじめとする巨大地震から守る災害検知・防災情報共有システムの開発と実装プロジェクトとして、東三河地域における全市庁舎に地震計を設置し、建物の損傷部位や程度を評価し、地震後の継続使用が可能かを判定するシステム構築を行うなど、具体的な地域の課題解決に関する成果をあげている。
- 社会人を対象とする「最先端植物工場マネージャー育成プログラム」、「IT 食農先導士養成プログラム（最先端土地利用型 IT 先端農業コース）」及び「東海地域の 6 次産業化推進人材育成」の養成プログラムを開講し、地域社会の農業人材育成を進めている。これらのプログラムでは、累計 500 名以上の修了者を輩出しており、日本経済再生本部「未来投資に向けた官民対話」での成果紹介、農林水産省農業経営問題研究会委員就任、優良ふるさと食品中央コンクール農林水産大臣賞受賞など、地域のみならず全国レベルの顕著な成果を上げ、地域の課題解決における大きな役割を果たしている。
- 豊橋技術科学大学独自の英文研究広報誌 TUT Research（今期 16 回発行）と、米国科学振興協会（AAAS）が提供するオンライン情報発信サービス EurekAlert!（前期は 24 件、今期は 56 件をプレスリリース）の 2 つの国際情報発信ツールを活用して、豊橋技術科学大学の研究成果を世界中に発信している。これにより、平成 30 年度時点で 4 件の国際共同研究が進行している。

**分析項目Ⅱ 研究成果の状況**

**〔判定〕 相応の質にある**

**〔判断理由〕**

学術的に卓越している研究業績、社会・経済・文化的に卓越している研究業績が、それぞれ、15件、2件との評価を受けており、現況分析単位の目的・規模等を勘案し、相応の質にあると判断した。